

令和6年度研究計画

1 研究主題

生徒が主体的に学び、説明できる姿を実現する授業づくり
～「読み取る活動」「書く活動」を位置づけた学習過程の工夫を通して～

2 研究主題設定とねらい

昨年度は、思考・判断・表現の育成を中心に据えた、「生徒が主体的に学び、思考力・判断力・表現力等を育む授業づくり」をテーマに、「読み取る活動」と「書く活動」のより効果的な実施方法について検討し、テーマに迫った。授業の中で、佐賀県教育委員会が提示している「授業づくりのステップ123」を基盤として、「読み取りタイム」（必要な情報を読み取る時間）と「ライティングタイム」（自分の考えを書く時間）を教科横断的に取り入れた。また、朝の読み取りタイム（認知機能強化トレーニング）に引き続き取り組み、その課題や実施方法を検討しながら工夫・改善を行い、質の向上を図った。「主体的に学ぶ生徒の姿」については、「自分から、自己の目標に向かって学ぼうとする姿」や、「自分から、自らの課題を解決しようとする姿」を目指すことを確認した。特定の教科ではあるが、一定の研究の成果を得ることができた。

○令和5年度の授業の中で効果があった取組

- ① リード文を付けると生徒が書いていた。
- ② キーワードを使うように指示を出すことで、生徒が書くようになった。
- ③ 基本的な知識や技能の習得の場面でも、「なぜ?どうして?」と問い掛け、根拠を書かせた。
- ④ 動画を使うことで、自分たちの動きを意欲的に改善していた。
- ⑤ 授業の課題を示すことで、課題解決のために教科書から読み取る時間を設定した。埋めのプリントよりも、自分が大切だと思うところに線を引いて、課題を見返しながら考えて取り組んでいる様子があった。

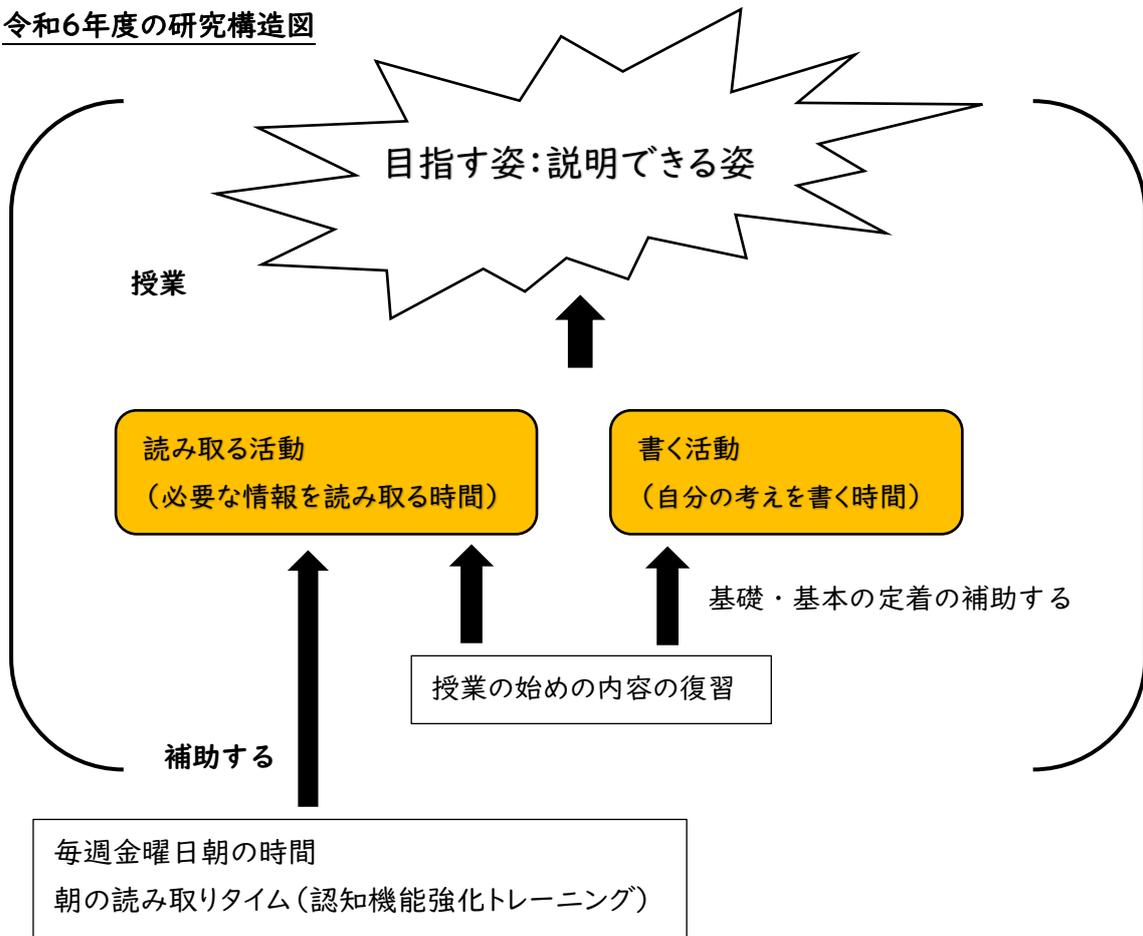
△令和5年度の課題

- ① 佐賀県小・中学校学習状況調査において、思考・判断・表現力を問う問題の正答率が県の平均を下回っていた。いくつかの教科では思考・判断・表現力において高い回答率を示すものもあったが、全体的な傾向としては、様々なテキストの情報から必要な情報を読み取り、根拠を明確にして説明することを苦手としている生徒が依然多い。
- ② 同調査において、知識・技能の部分でも、県を下回る教科があった。基礎的・基本的な力を付けるためにも、課題の設定を工夫したり生徒自らの学習調整を促したりすることで、さらに主体的な学習態度を育む必要がある。

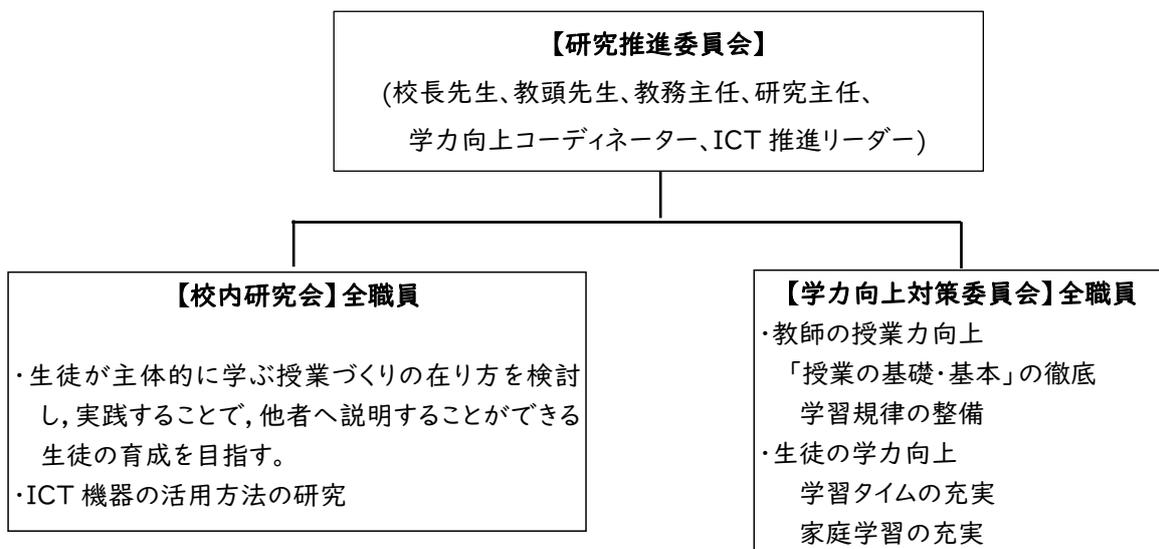
これらの成果と課題を踏まえ、令和6年度は、「説明できる姿」の実現を目指した授業づくりをテーマに「読み取る活動」「書く活動」の目指す方向性をより具体化し、質的な向上を図りたい。また、授業の中での「読み取る活動」「書く活動」をより充実させるために、今後も、朝の読み取りタイム（認知機能強化トレーニング）に引き続き取り組むだけでなく、授業の始めに内容の復習（小テスト、確認作業）を取り入れ、基礎・基本の定着を目指し、その課題や実施方法を検討しながら工夫・改善していく。生徒が「説明できる姿」は、他者に一方的に説明するだけでなく、自分の考えを持ったり対話の中で考えを広げたり、深めたりしたものを書いて表現してい

る姿も含まれる。この生徒の姿を各教科の授業の中で見るができるように、各教科での授業づくりを工夫・改善していきたい。引き続き、佐賀県教育委員会が提示している「授業づくりのステップ123」を基盤とする。

令和6年度の研究構造図



3 研究組織



4 研究の内容と方法

(1) 研究の内容

- ① 主体的に学ぶ生徒の姿を授業実践の中で実現し、説明できる力を育成するための「読み取りタイム」「ライティングタイム」を学習過程に位置付けた授業改善についての具体化を図る。
- ② 授業の始めに、内容の復習（小テスト、確認作業）を取り入れ、基礎・基本の定着を目指した授業改善についての具体化を図る。
- ③ 朝の「読み取りタイム」の効果的な形で実施方法の工夫・改善。生徒の取組に対する理解を促し、授業の読み取りタイムと関連付ける。

(2) 研究の方法

- ① PDCA サイクルを推進し、組織的に行う。
- ② 授業参観シートを作成し、それを使って相互参観し、教科横断的に意見交換を行う。
- ③ 生徒・職員へのアンケートを実施する。

5 研究日程

校内研究会	学力向上対策委員会
4月：研究構想・研究計画提案 ○読み方レスキューについての共通理解 ○授業づくりのステップ123セルフチェック	4月：「授業の基礎・基本」の確認 ○学習環境の確認（教室掲示物・置き道具） ○学習タイムについての共通理解
6月：全国学習状況調査の分析、授業改善及び授業づくりのステップ123セルフチェック	
8月：個別最適な学びにおけるICT 機器活用に関する研修 ○授業研究会（指導案検討）モデル構築 ○公開授業と授業研究会に向けて ○「授業づくりのステップ123」セルフチェック	10月：生徒の「知識・技能」を定着させるための家庭学習や学習タイムについて、工夫・改善
11月：「授業の基礎・基本」の実態把握と今後の工夫改善 「授業づくりのステップ123」セルフチェック	
12月：第2回 SAGA テストの結果の共有 ○朝の読み取りタイムの改善 ○「授業づくりのステップ123」セルフチェック	1月：生徒の「思考・判断・表現」を定着させるための家庭学習や学習タイムについて、工夫・改善
2月：研究のまとめ ○「授業づくりのステップ123」セルフチェック	
3月：来年度の計画・見通し ○「授業づくりのステップ123」セルフチェック	